

ART ARCHIVES-one

ART ARCHIVES-one

継承と活用:アート・アーカイヴの「ある」ところ

2010年10月9日[土] 13:00-17:30

東京国立近代美術館 講堂[定員150名]

参加費 | 1,000円[資料代として]

美術・芸術に関連した資料を記録・保存するアート・アーカイヴ。

「芸術の記録とは何なのか?」「どのように保存するのか?」

これら根本的な疑問に対する答えにも多様な視点があり、

それがアート・アーカイヴを特徴あるものになっています。

〈ART ARCHIVES〉はアート・アーカイヴの現場を

つなぎ継続的に開催するシンポジウムです。

第一回は〈ART ARCHIVES-one 継承と活用:アート・アーカイヴの「ある」ところ〉として、

様々な立場から状況報告・情報共有を行い、

アート・アーカイヴを考えるうえでの問題提起をしたいと考えます。

| パネリスト |

上崎 千 [慶應義塾大学アート・センター アーカイヴ担当]

樋口 昌樹 [資生堂企業文化部参事]

本庄 美千代 [武蔵野美術大学 美術館・図書館 事務部長]

水谷 長志 [東京国立近代美術館情報資料室長]

| パネルディスカッション・コーディネーター |

水沢 勉 [神奈川県立近代美術館 副館長兼企画課長]

※ 4名のパネリストによる基調報告の後、15:30よりパネルディスカッションを行います

| 司会 |

渡部 葉子 [慶應義塾大学アート・センター 教授]

[主催] アートドキュメンテーション学会 / 東京バブリッシングハウス TEZEN

[協賛] 武蔵野美術大学

[協力] 東京国立近代美術館 / 慶應義塾大学アート・センター / 神奈川県立近代美術館 / 株式会社資生堂 / 株式会社高島屋 / 富士ゼロックス株式会社

[後援] 日本アーカイブス学会